

報告事項 1 令和7年度事業報告について

定款第 38 条に基づき、理事会の承認を受けたので、その内容を報告する。

令和7年度事業報告書

近年の畜産情勢は、依然として厳しい環境が続いており、高齢化や後継者不足に起因する畜産農家戸数の減少に歯止めがかからず、生産基盤の維持は全国的な最重要課題となっている。また、ウクライナやホルムズ海峡問題など世界的な情勢の変化に伴う食料安全保障上のリスクの高まりや、資材、エネルギー価格の高騰による生産コストの上昇は、畜産経営の安定的な継続に多大な影響を及ぼしている。

このような情勢を念頭に、会員その他関係機関と密接に連携しながら、緊急に措置された国・県の施策も含めて、制度を的確に運用し、下記のとおり各種経営支援対策や家畜防疫対策および畜産関係団体の活動支援等に取り組むことによって、近江牛をはじめ、滋賀の畜産物の安定生産を下支えし、本県の畜産振興に努めたところである。

(1) 肉用子牛の安定生産を図るための肉用子牛生産者補給金制度事業では、令和7年度において発動がなかった。

また、優良和子牛生産推進緊急支援事業では、令和6年度第4四半期に発動があり、販売出荷された和子牛3頭分30,000円を令和7年5月に交付した。

(2) 肥育牛のセーフティネット対策である肉用牛肥育経営安定交付金制度（牛マルキン）では、生産資材等の高騰を受け、肉専用種706頭、交雑種405頭および乳用種42頭の合計1,153頭分23,052,819円を交付した。

(3) 近江牛等助成事業では、生産者団体が主催する研修会および優秀農家表彰等に1,807,783円の支援を行った。

(4) 近江牛の地理的表示保護制度（GI）に係る登録生産者団体として、77牧場を指定・登録し、飼養管理状況の確認を行うとともに、GI近江牛の出荷確認を行い、9,245頭分の確認票を交付した。また、関係団体との連携により「おうみにくの日キャンペーン」や「おうみにくの日「応援」キャンペーン」を実施するなど、消費者や流通業者に対してGI近江牛の周知PRを行った。

(5) 耕畜連携により地域が一体となり策定した畜産クラスター計画に基づく「畜産酪農収

益力強化整備等特別対策事業」(機械導入事業リース方式・購入方式)では県窓口団体として、4 地域クラスター協議会に対して、飼料収穫調製用機械や堆肥調製散布機械など 39 機械装置に係る補助金 98,785 千円の支援を行った。

(6) 肉牛経営者等が連携して策定した繁殖雌牛増頭計画達成のため、「優良繁殖雌牛更新加速化事業」により繁殖雌牛 50 頭の更新を行った 5 経営体に対し 5,701,400 円を支援した。

(7) 酪農ヘルパー対策として、滋賀県酪農ヘルパー利用組合が実施する酪農ヘルパー人材の育成支援、酪農家の傷病時におけるヘルパー利用の円滑化、利用組合の組織と活動の強化等による酪農経営のゆとり創出や生産性向上に資する取組に対し、1,106,920 円の支援を行った。

(8) 畜産経営の基本となる家畜の生産能力の向上を図るため、乳用牛の登録 255 頭、和牛の基本登録 146 頭、高等登録 2 頭ならびに子牛登記 1,325 頭を行った。

また、令和 7 年 10 月に第 16 回全日本ホルスタイン共進会が北海道安平町で開催された集合審査に参加した。さらに、令和 9 年 8 月に北海道十勝管内で開催される第 13 回全国和牛能力共進会に向けて、15 機関・団体が構成する全国和牛能力共進会「近江牛」出品対策協議会を開催した。

(9) 家畜防疫体制確保対策の一環である家畜生産農場清浄化支援対策事業として、牛伝染性リンパ腫対策について、12 農場における吸血昆虫駆除に係る取組を支援するとともに、高リスク牛として乳用牛 3 頭の早期淘汰を支援した。

(10) 畜産関係団体(滋賀県乳用牛群検定組合、「おうみ」和牛繁殖協議会、滋賀県養豚推進協議会、滋賀県養鶏協会、近江しゃも普及推進協議会および一般社団法人滋賀県配合飼料価格安定基金協会)の事務局業務を受託し、その活動を支援した。

事業体系

1 法人運営管理

- (1) 監査会・理事会・総会の開催
- (2) 県機関・畜産関係団体との協力調整
- (3) 会員の異動管理
- (4) 役員・職員の異動管理
- (5) 特別運用基金、運営基金および外部出資金の管理

2 畜産振興対策

[1] 近江牛等子牛生産安定対策

公益事業継続 1

肉用子牛生産者補給金制度やその他の関連助成事業により、経営の安定を図った。
また、事務委託先の一般社団法人滋賀県配合飼料価格安定基金協会に支出した個体識別技術料等のうち、基金協会の事務局業務を受託した令和6年10月以降に補助要件を満たさなくなった令和6年度補助金34,500円を令和7年11月に返還した。

- (1) 肉用子牛生産者補給金制度事業（機構・補助）

〔生産者積立補助金 1,326,100 円〕

- (2) 肉用子牛価格安定対策事業（滋賀県・補助）〔生産者積立助成金 663,050 円〕

- (3) 肉用子牛生産者補給金制度運営体制整備強化事業（機構・補助）

〔事業費 9,832,384 円〕

- (4) 優良和子牛生産推進緊急支援事業（機構・補助）〔事業費 139,167 円〕

- (5) 和子牛産地基盤強化緊急特別対策事業（機構・補助）〔事業費 164,926 円〕

[2] 近江牛等肥育経営安定対策

公益事業継続 2

肉用牛の価格補てん事業やその他の関連助成事業により、経営の安定を図った。

- (1) 肉用牛肥育経営安定交付金制度（機構・補助）〔事業費 17,289,573 円〕

- (2) 肉用牛肥育経営安定緊急対策事業（県・補助）〔事業費 1,299,530 円〕

- (3) 肉用牛肥育経営安定交付金制度推進事業（機構・委託）〔事業費 7,965,153 円〕

- (4) 近江牛等助成事業（会単独）〔事業費 1,807,783 円〕

[3]生産振興経営対策

公益事業継続 3

畜産経営の安定および生産性の向上を図るために、計画的な機械・装置の導入や経営診断等に基づく、生産・技術改善支援を行った。

(1) 畜産経営技術改善促進事業（県・補助）	〔事業費 4,500,000 円〕
(2) 近江牛地理的表示保護制度運用事業（県・補助）	〔事業費 8,921,315 円〕
(3) 畜産振興補助事業（地全協・公募）	〔事業費 12,020,798 円〕
(4) 肉豚経営安定対策事業（契約者・受託）	〔事業費 229,980 円〕
(5) 畜産特別資金推進指導事業（中畜・補助）	〔事業費 1,031,980 円〕
(6) 畜産生産基盤育成強化事業（県・受託）	〔事業費 1,650,476 円〕
(7) 畜産酪農収益力強化整備等特別対策事業（中畜・受託）	〔事業費 2,368,597 円〕
(8) 畜産クラスター全国実態調査事業（中畜・受託）	〔事業費 80,490 円〕
(9) 畜産経営体生産性向上対策事業（中畜・受託）	〔事業費 674,862 円〕
(10) 畜産関係団体調整機能強化事業（中畜・受託）	〔事業費 2,296,442 円〕
(11) 貸付事業指導等委託事業（近代化リース協会・受託）	〔事業費 215,000 円〕
(12) 優良繁殖雌牛更新加速化事業（全国肉用牛・受託）	〔事業費 635,433 円〕
(13) 「近江牛」グランプリ枝肉共進会事業（会単独）	〔事業費 742,957 円〕
(14) 畜産経営高度化指導推進事業（中畜・受託）	〔事業費 126,654 円〕

[4]酪農ヘルパー対策

公益事業継続

ゆとりある酪農経営を確立するため、酪農ヘルパー利用組合が行うヘルパー事業の円滑な推進やヘルパー要員の確保・育成を支援した。

(1) 酪農経営安定対策補完事業（機構・補助）	〔事業費 1,564,701 円〕
(2) 酪農経営安定化支援ヘルパー事業（酪農ヘルパー協会・受託）	〔事業費 52,601 円〕

[5]家畜改良対策

公益事業継続 5

家畜改良の増進を図るため、家畜登録事業（乳牛・和牛）を実施するとともに、牛凍結精液の配布等を行った。

(1) 家畜登録事業 乳牛・和牛（日ホル、全和・受託）	〔事業費 8,084,660 円〕
(2) 家畜凍結精液供給事業（会単独）	〔事業費 35,730,355 円〕
(3) ゲノミック検査事業（会単独）	〔事業費 1,294,216 円〕

[6]家畜防疫体制確保対策

公益事業継続6

安全・安心な畜産物を生産・提供するため家畜疾病防疫対策や家畜衛生指導等を行った。

- | | |
|--------------------------|-------------------|
| (1) 家畜衛生対策事業（農水省・公募） | 〔事業費 3,033,387 円〕 |
| (2) 家畜防疫互助基金支援事業（中畜・受託） | 〔事業費 339,671 円〕 |
| (3) 家畜防疫・衛生指導対策事業（中畜・補助） | 〔事業費 1,110,670 円〕 |

3 その他（畜産関係団体の活動支援対策）

畜産関係団体（6 団体）の活動を支援し、県内畜産の振興に努めた。

- | | |
|------------------------|--------------------|
| (1) 配合飼料協会業務促進事業（県・補助） | 〔事業費 951,600 円〕 |
| (2) 畜産関係団体の事務局管理運営業務 | 〔事業費 10,322,000 円〕 |